



し
と
り

鬼
方
カ
ユ
コ
の

温
度
管
理

R18
ADULT
ONLY

鬼方カヨコのいとし度管理

まえがき

この本は、鬼方カヨコの中に秘めた側面を濃密に抽出、分離し、生まれた存在を描いた非公式ファンブックです。

実際の鬼方さんは分離しませんし、えっちなこともしません。(たぶん)

でも、そんな彼女を見てみたかったので描きました。



白カヨコ

先生を籠絡したい面を濃厚抽出した存在。先生が理性を飛ばして徹底的に落ちてくれることを望んでいる。



黒カヨコ

カヨコから嫉妬心を濃厚抽出した存在。先生のお人好しに日々頭を悩ませ続けている。

鬼方カヨコの
しっとり
湿度管理



それは
それは

たくさんの
時間を…



過ごした
のに…



まったく
手を出して
こないの
で
ある!!

なのに
あれ以来



一緒に
ベッドで
寝ている
この状況ですら
手を出して
こない!!



そりゃ
普段温厚な
鬼方さんだつて
怒りますよね

わかります

ええ、すごく
わかりますよ

うんうん

さつきから
なんなんだ
この
ナレーション…

……
まったく

ひとの気も
知らないでさ

なんの夢
見ているか

カッ…

う…

ん

ん



わかっ
てる





はあ... はあ... はあ...

あ... あ... あ...

はあ... はあ... はあ...

先生

ん

パン

パン

パン

パン

パン

パン

手... しょう... ない...

先生... 先生... 先生...

あ

ん

ん

先生

先生の

ん

ん

ん

先生

先生

あ

パン

パン

パン

あ

先生に
襲われたい

逃げられない
ように

容赦なく
うしろから激しく
何度も突かれて

自分
は
先生
の
所有
物
だ
っ
て

思
い
さ
れ
知
ら
れ
た
♡



は
ッ

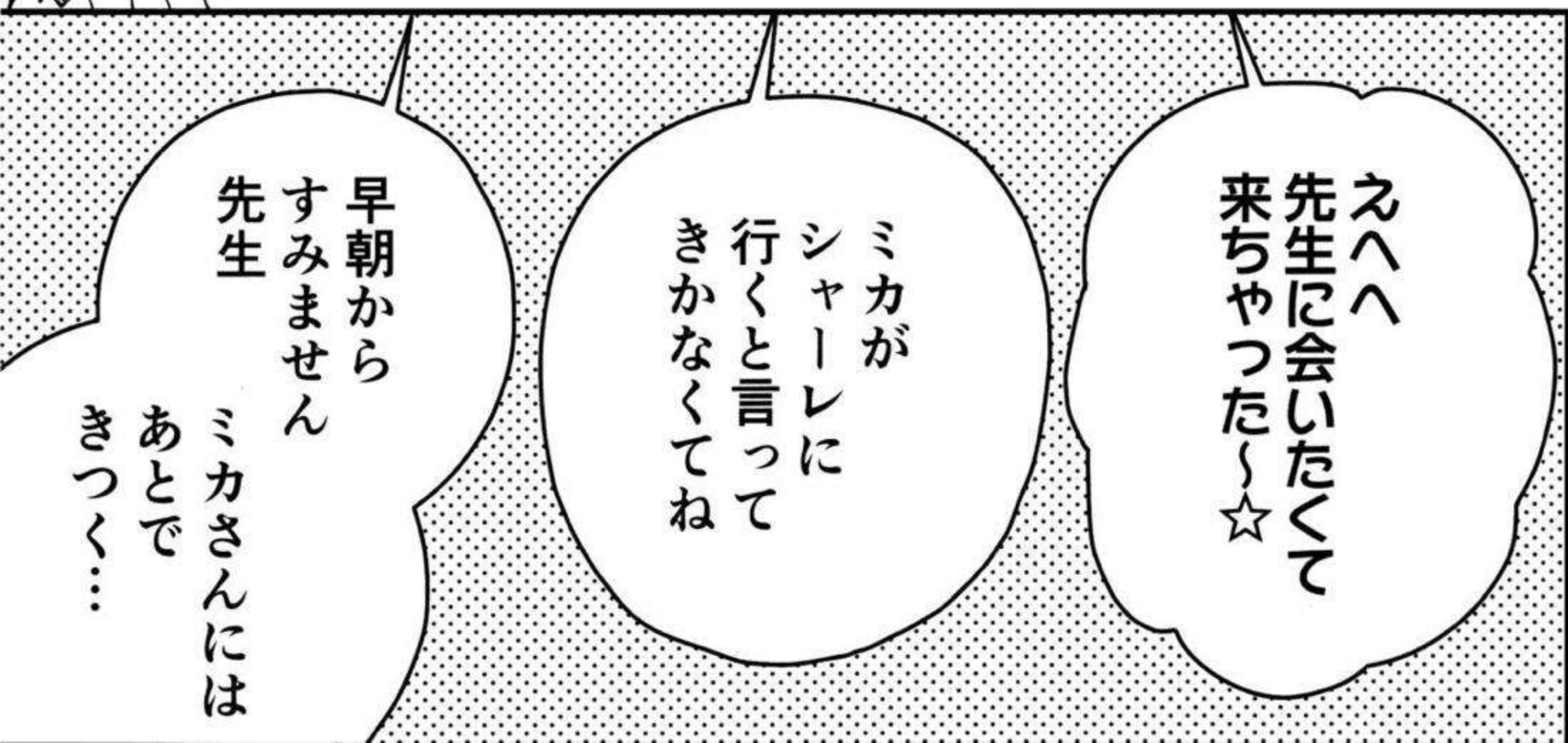
は
あ

…
ッ

は
あ

…





そんな事
言つてく

ふたりだつて
先生に会いたい
つて言つてた
じゃーん☆

トラトラ
トラトラ

その後も
彼女の怒りは
増す一方
だった！

次の日も

先生
今日も
シャワー
お借りします

別に

先生に
会いたい
から
ではなく…

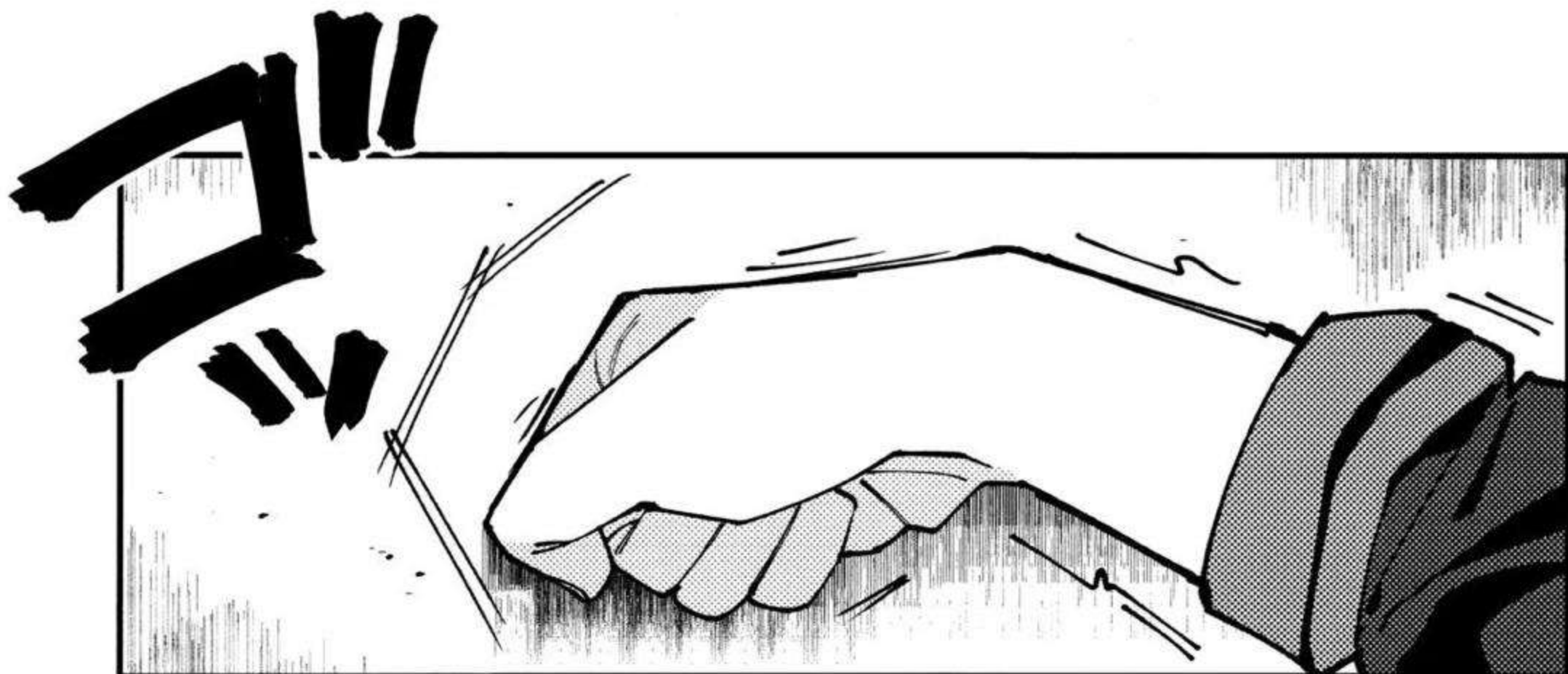
あの…、
私に何か
できること
ある？

その、
先生の
ためなら…

その
次の日も

せーんせつ

ふふ、
来ちゃった♡



カヨコは
限界
だった!!

なんなの
あの天然人たらし
どれだけ隙が
あれば
気が済むわけ?

絶対犯す
今夜こそ
絶対に犯す

カヨコは
限界だった!!

(二回目)

…って
だめだ

はあ…

何
考えてるの
私…

そりゃもつと
先生との時間を
過ごしたいけど

これ以上
迷惑だつて
かけたくない…

…
落ち着け

あの人は
ただ
困ってる
生徒を…

ただいまー

がちゃ



『恋』の
相談され
ちゃったよ



いや、
仕事帰りに
コンビニ
寄ったら

生徒に
ばつたり
会っちゃつて
さ



込み入った
話になるから

今度二人きりで
じっくり聞いて
欲しいんだって

恋愛かあ…
私なんか
相談相手が
務まるかな…

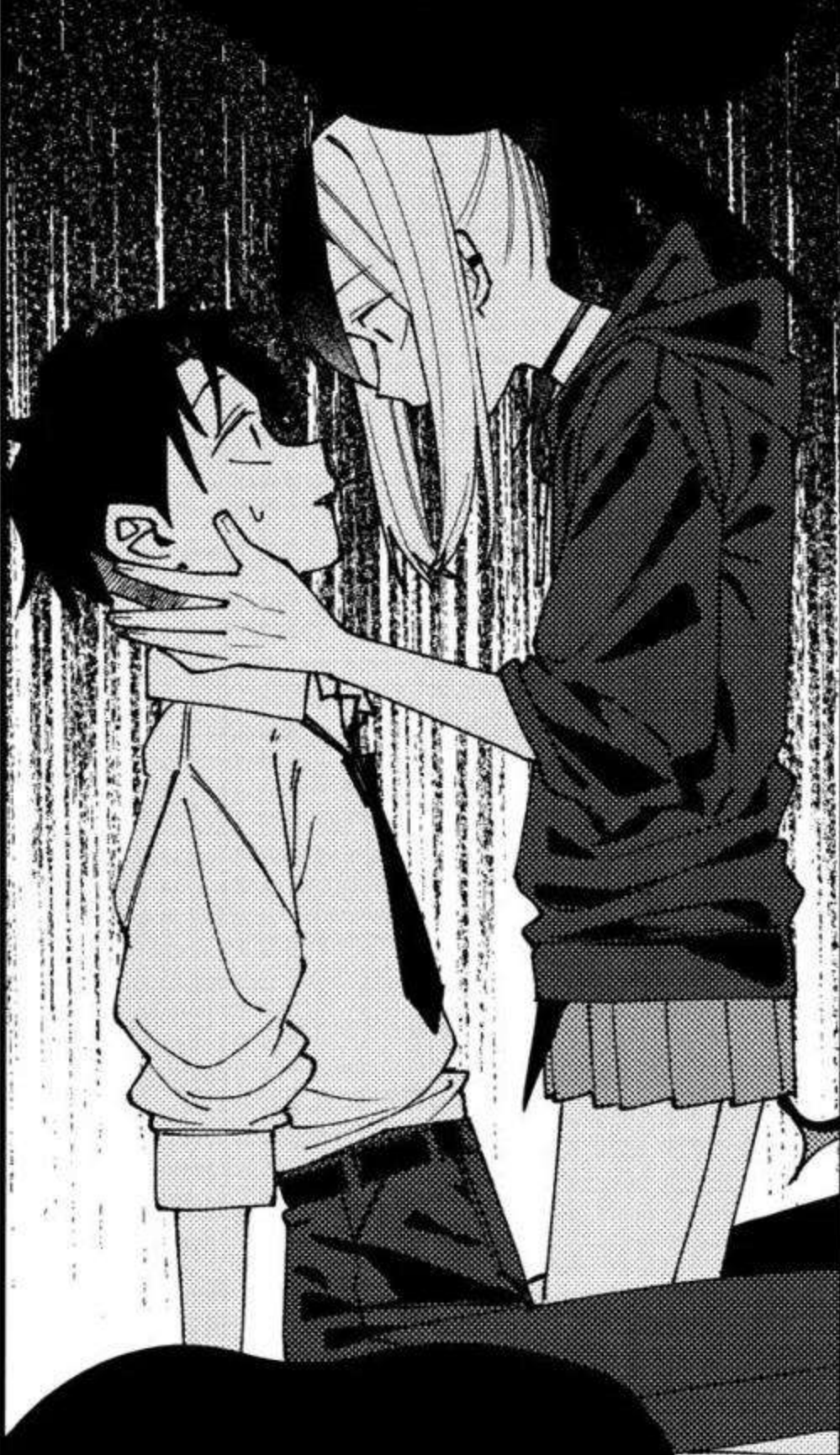




じい

でもあ

いくらバカが
つくほどの
お人よしでも



なんでも
受け入れて
いいってわけ
ないよね



遅くに
帰ってきた
かと思えば

あの生徒が
この生徒が
って

ほかの
生徒の話
ばかり



寝る前だって
生徒たちに
ずーっと
モモトーク
返信して
拳句寝落ち

…ねえ
そのスマホ
毎回誰が
充電して
あげてると
思う？



てかさ、
シャーレに来る
生徒の何人が

自分目当てか
わかってる？

わかんない
よね

だって
あんた
鈍感だし





答えが
聞きたくて
こういうこと
してるわけじや
ないから

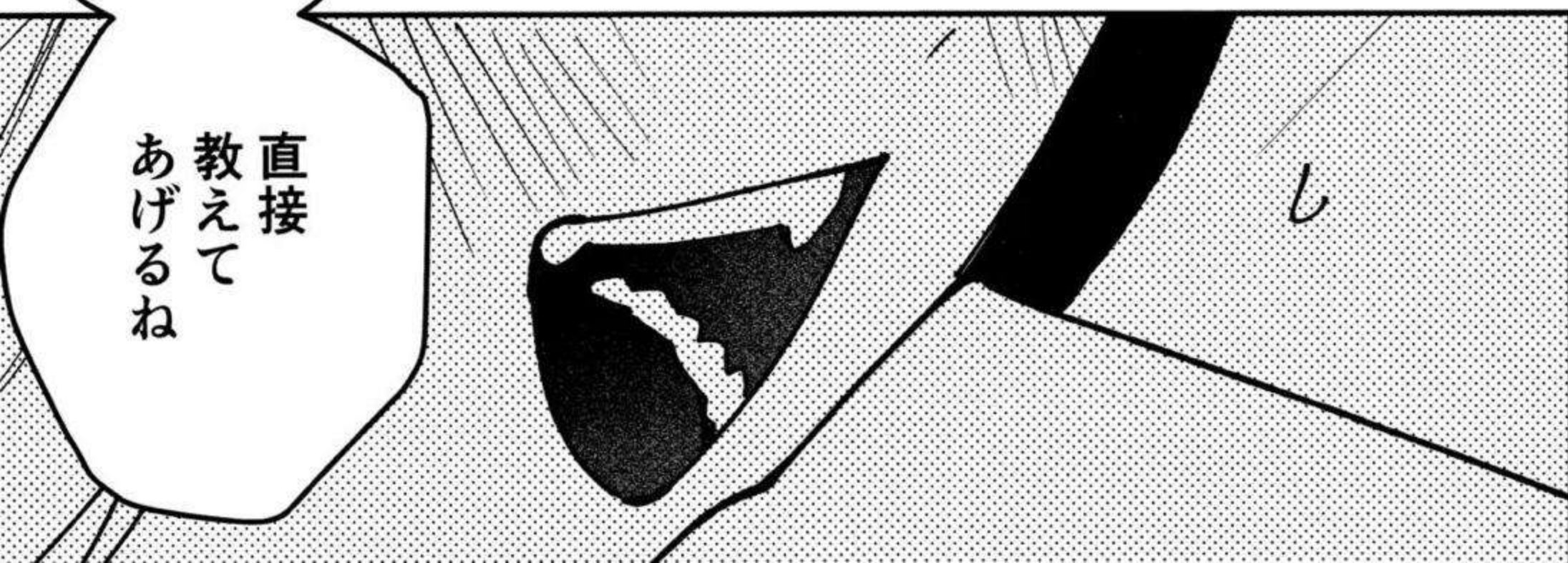


これはッ

いいよ
もう



…
だから



直接
教えて
あげるね

その
カラダが

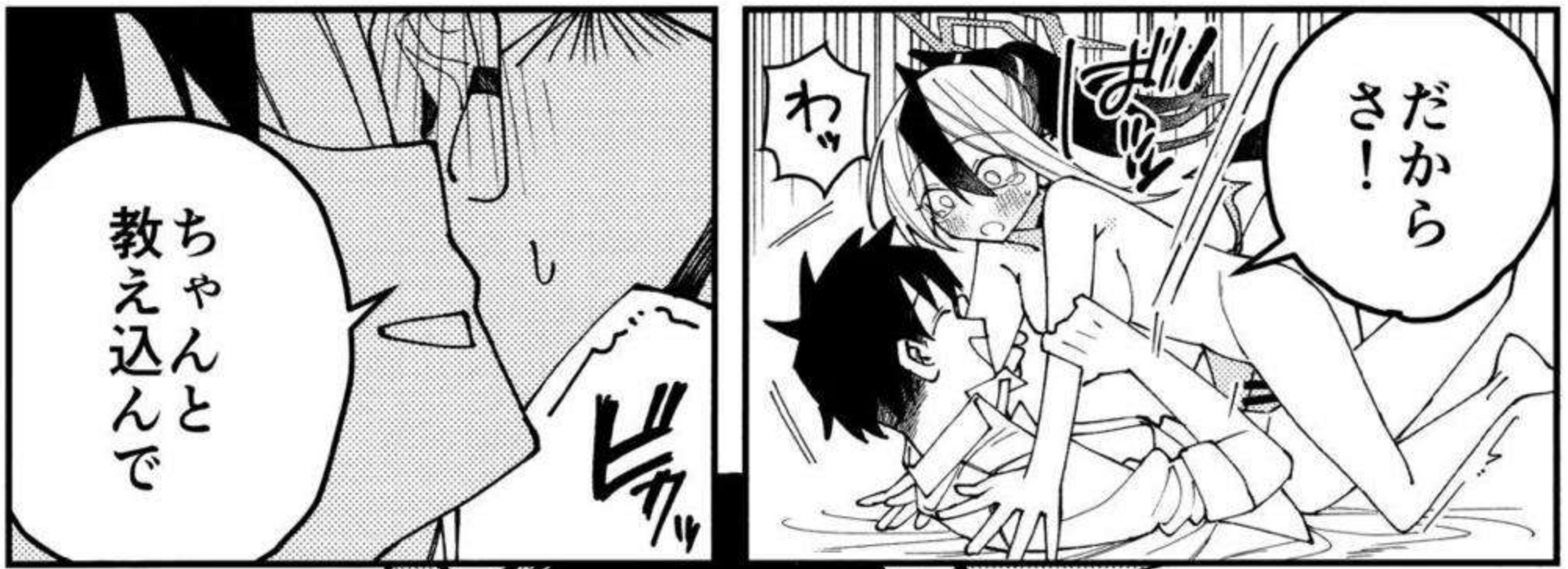
誰の
所有物か

















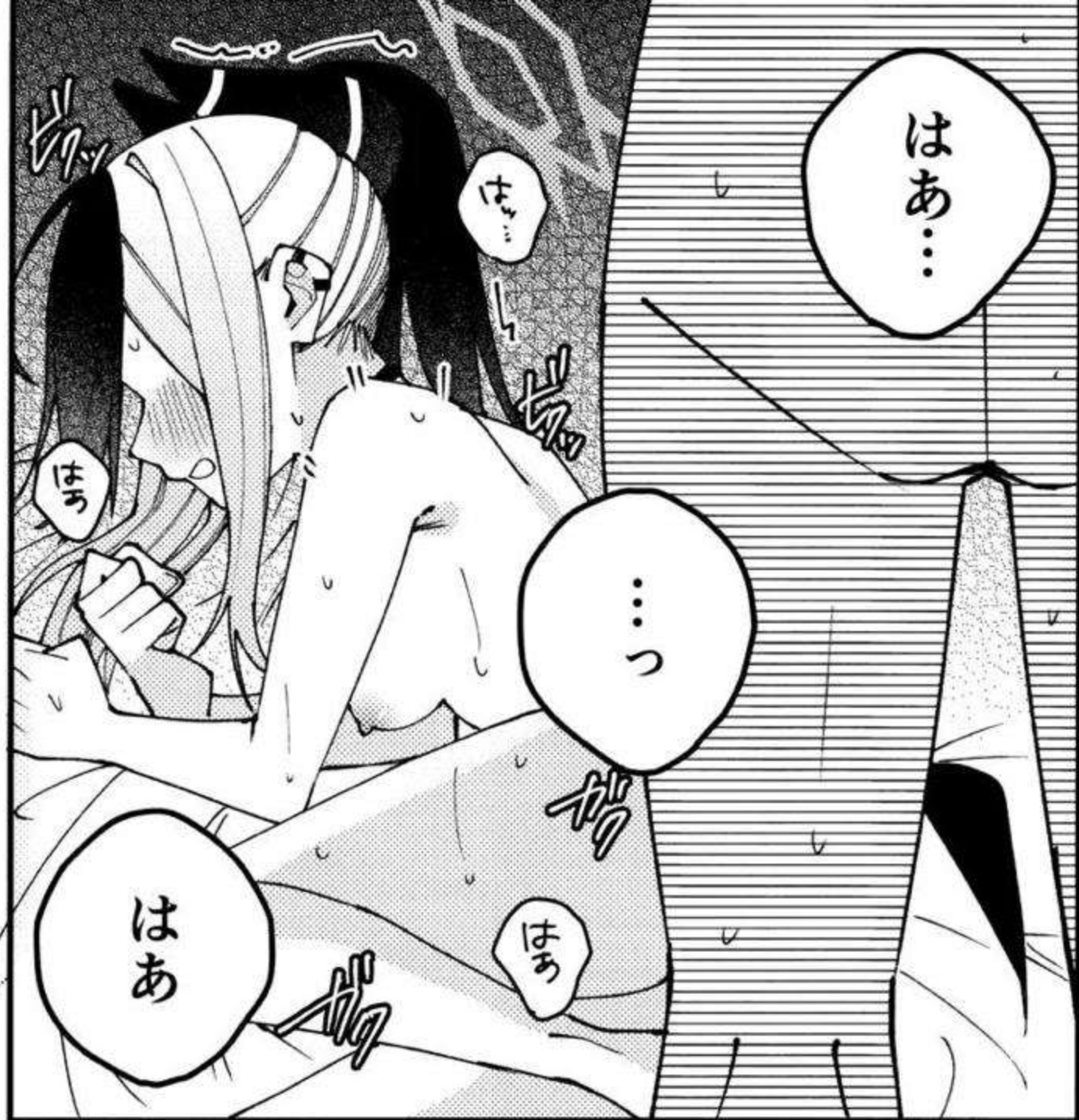
よく
頑張ったね

射精すよ

よく
頑張ったね
カヨコ

射精すよ





最近
先生と
会えないな

は？
うちの学校で
見かけたじゃん

そうじゃ
なくて!!

なんて
いうか
……
二人で
会ってくれない
っていうか……

え、なに

アンタなんか
やばいこと
でもしたの？

ちがうわ!!
ただの
相談……

って言うか
伝えたいことが
あって……



鬼方カヨコの
しっとり
湿度管理



いい子だね
先生♡

よし
よし



今日もお仕事
頑張ったね♡

とーっても
えらいね♡

よしよし♡
お疲れさま♡

ぽん♡

ぽん♡

何故こんな
ことに…!!



※：キャラクターはすべて





あああ
もう!!



いいや
だめだ
それじゃ
間に
合わない...



誰かに
甘やかされ
たいいい!!



へあ!?



大変そうだね
先生

…カ、

カヨコ!!

その顔、
また徹夜
したでしょ

おい

サキ

サキ

HURNILKHA

先生って
ほんと
無理ばっか
するよね…

せいのほ
あかる
けいさ…

心身共々
重々承知
しております…

はあ…



でもおゝ…
仕事が
終わら
なくてえ…

ひーん…

だめだよ
先生

こういう時
こそ
しっかり
休まなきゃ…



ね♡

ぎゅ



カ、カ、
カヨコ!?

な、な、
なにをい

こうして
ぎゅーつて
すると
気持ちいい
でしょ?









ああー…
何やってんだ
俺…

いくら
限界が来てた
からって
これはまずい
だろ…



でも…

いっいっ



いっいっ
だろ…

こんな風に
優しく
甘やかして
もらったの…



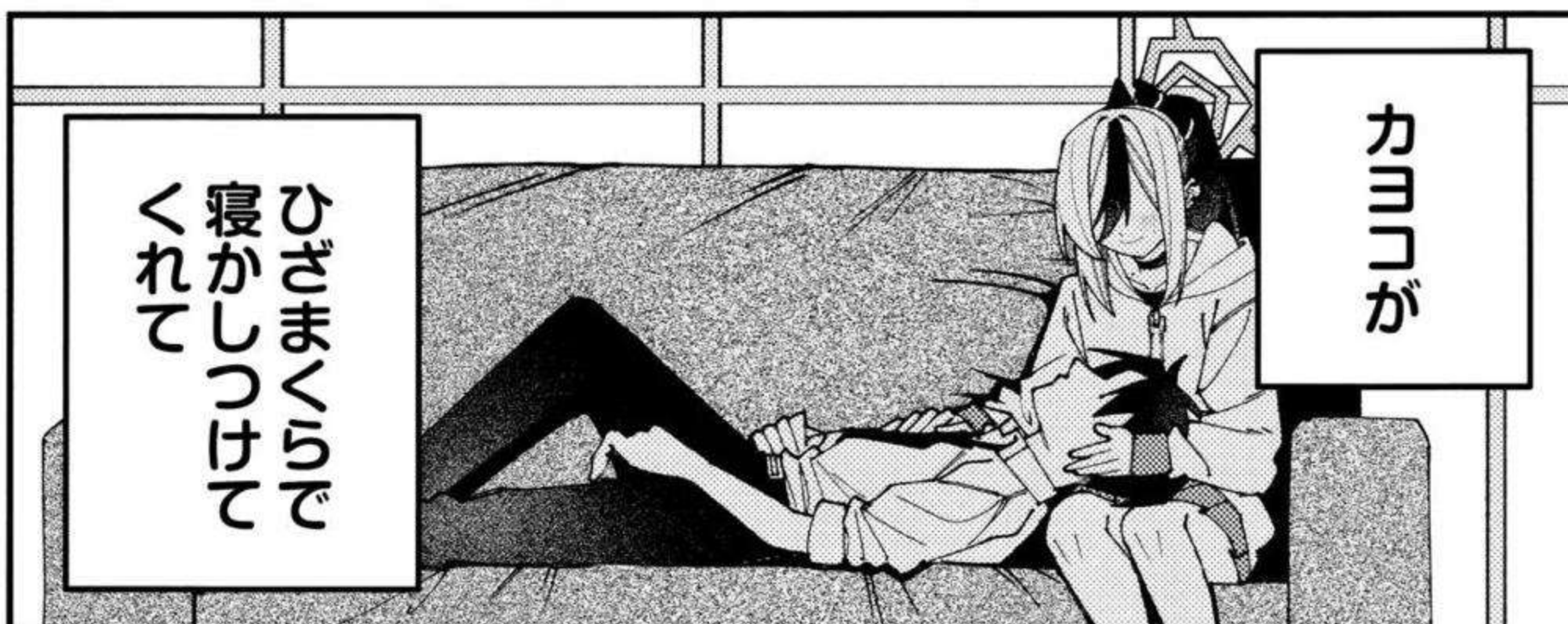
すっぐ…

落ちてくる

………



なんだか
ものすごい
夢を見た
気がする



カヨコが

ひざまぐらで
寝かしつけて
くれて



えそれ…

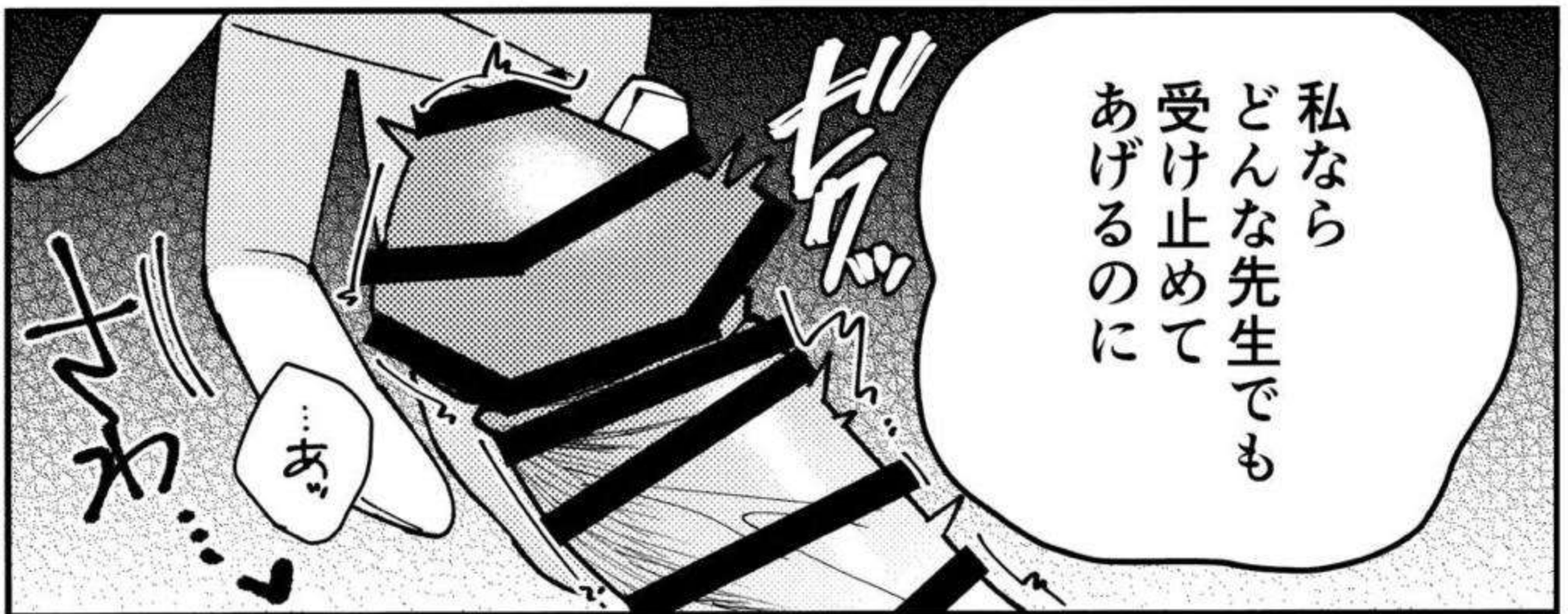
すわ…



それで…











私の前で

大人のふり
しなくても

先生
だってさ

大人になんて
なりたくて
ないんだけど
ないんですよ？

でも
安心して？

私が
いいっぱい
甘いから
あげて

だから
さつさと

そんな
理性
捨てちゃえ



それから
彼女の
籠絡計画は

静かに…
そして確実に
侵食
していった…

次の日も

その
次の日も

あ

うん

fren
954-pm
#6165

fnn

うん

うん

ま

うん

fnn

うん

うん

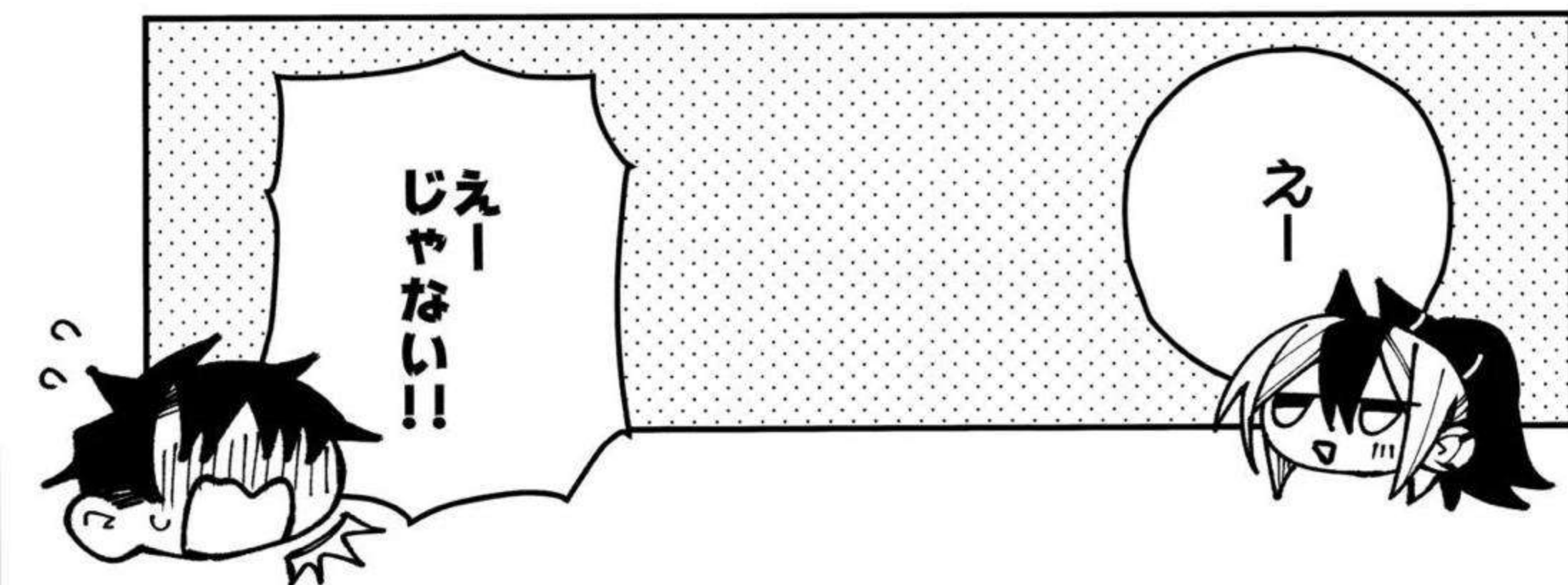
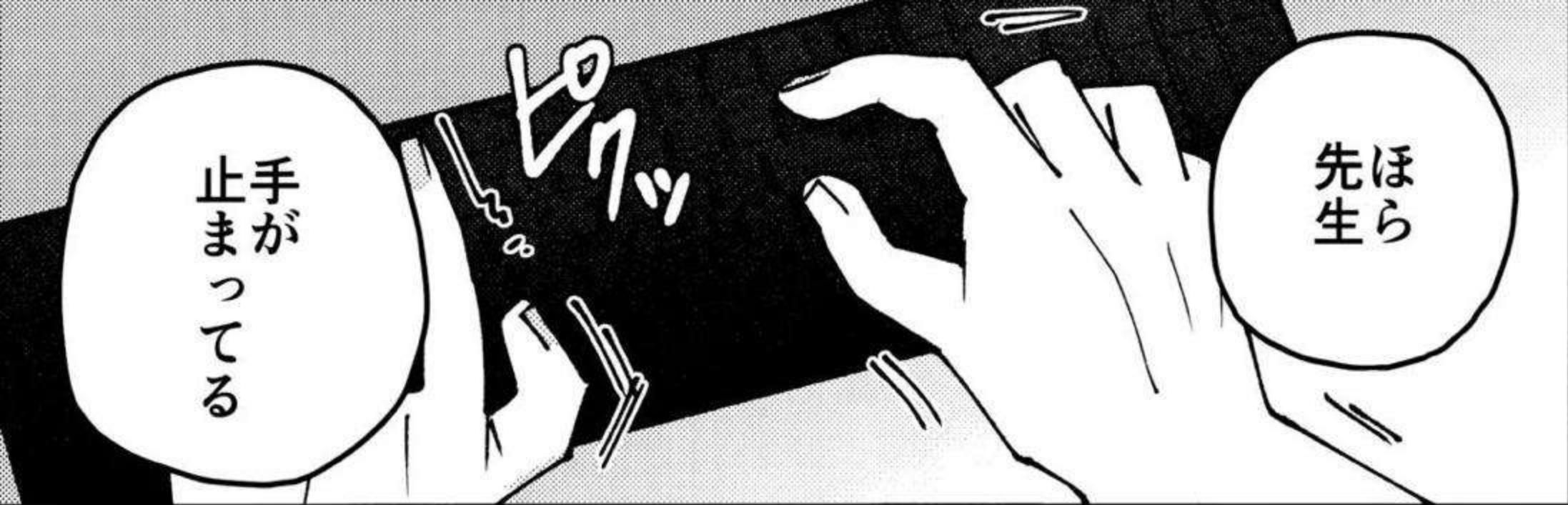
うん

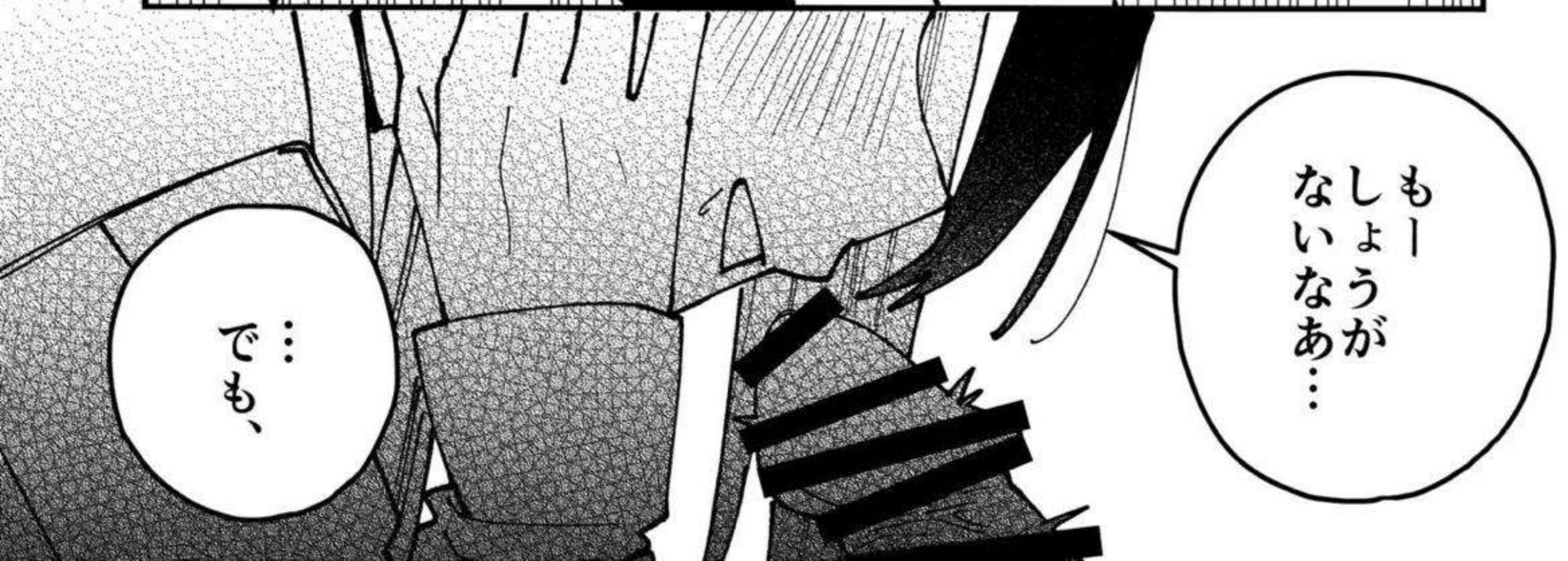
カヨコに
搾り取ら
れた日々
が続いて
る

あ

うん

うん









なあに？

その…

そ、そう
じゃなくて
……

カ、
カヨコの

うん

カヨコの
膣内に

は

い、
挿れたいッ

とろろ

…ふふ

よく
おねだり
出来ました♡







提出物、
問題ありません
でした

そ、それは
よかった

最近は期日を
守って
提出して
くれますね

：何か
変化でも？

は、はは
ゆ、優秀な
生徒が管…

う…

あ…

て、手伝つて
くれる
おかげかな…

あの…
大丈夫？
ですか？

ないんでも

ないんでも

いえ、
や！？

わ♡

ふ♡

籠絡計画は
まだまだ
始まり…♡

あとがき

こんにちは、私です。
本書をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

なぜ私は大人なしっとり本を焼き上げてしまったのか…
それは冬コミの温泉カヨコ本(一般向け)を読んでもくださった方々、
あとは周り(●ちゃ、く●りて、●にクリームコロッケ他)からの
「ここまで描いちゃったならもう…ね」に応えるべくアマゾンの奥地へ足を踏み入れたというわけです。
こんにちは(二回目)

さて今回の白黒カヨコ本いかがだったでしょうか。
存在しない概念を72p描いて読んだ人を怖がらせましょう！
出来ましたかね。出来るといいんですが。
正直描いた自分が一番怖かったです。
なぜならこんなページ数になるなんて思ってませんでしたから。

黒カヨコ

嫉妬をテーマとしたお話でした。
重めなテーマではあるけど、誰かが悪者にならないようギャグを入れたりしてマイルドにしつつも
革新は重く深い執着心を描けてたらいいなと思って悩んで悩んで筆を進めていたら
立場は逆転するわ、先生が極悪人になるわとんでもないことになっちゃいました。
どうしてだよ！えっちだからだよ！

カヨコも先生に対して重い感情を向けていますが、
先生も同様にその感情があったんだろうなと思います。
たとえば、わざとモモトーク画面を付けて寝落ちしていたのも、
自分に対しての恋愛相談だとわかっていながらも引き受けたのも
彼女に嫉妬してほしくて、執着してほしいがためにしていたと思ったら…とんでもないですね。

行為の最初彼女にリードさせたのも"そういう彼女が見たかったから"なんだろうし、
彼女が求めていた答えも、してほしかったこともわかっていたのは愛ゆえなんだろうかね。
なんて歪な愛情表現なんだ…。本当に許せません。

どちらも相手に依存し執着し嫉妬している…
これを相思相愛というんですね。違います。
しかし、二人の関係はこれからも歪にもしかして幸せに紡がれていくでしょう。
私は推しが幸せでいてくれるなら他には何もいりません。

白カヨコ

誰だって大人になりたいってなったわけじゃない、
全部投げ出して甘やかされたい。生きてるだけで褒められたい。
よしよしされたい、ぎゅーってされたい。
そんな欲望があるのに理性という壁が邪魔をして素直になれない！
そんなときカヨコが少しずつその壁を壊してくれるお話でした。

とはいっても最後まで強固な理性だったな！先生！
カヨコが自分の前でならさらけ出していいという最高のステージを作ってくれたというのに…！
意気地なし！懇願できたのに外にだしちゃうなんて！もう情けない！でもそこが人間らしいよ先生。
彼女はまだまだ手の内を隠してますからね。まだまだ描きたいことが詰まっています。
それに籠絡計画はまだまだ続くとの事なので
次こそは最高にとろとろに甘やかされた先生が見れることでしょう！

え…
これ、次があるの…？
描くの…？

冬…？

というわけで頭のネジを1本100本1000本外して描いた
大人しっとり本でした。
ここまで読んでくださり本当にありがとうございました。
もっと勉強して次はもっとしっとりとした本を作ろう、頑張ろうと思いました。

てかもう白黒カヨコは存在しない概念なのでここまできたら次は三人でなかよくしっとりしてる話とか見てみたいです。
見たいじゃなくて描きなさいよ。はい。

それではまたどこかのパン屋さんでしっとりもちもちとしたパンが焼きあがるころにお会いしましょう。
アリーヴェデルチ

鬼方カヨコのしっとり湿度管理

2025年08月16日 発行

発行 ゆかりた

著者 もりこっこ(Twitter@oomori_11)

連絡先 yukarita11@gmail.com

印刷所 株式会社栄光

本書は個人で制作した非公式ファンブックです。制作会社様、及び全ての著作権元とは関係ありません。
また、本書の無断転載、複製(電子データ化含む)、

Unauthorized reproduction prohibited / 禁止私自轉載、加工 / 복제 금지

鬼方カヨコの
しっとり
湿度管理